

松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドラインの概要 (1/2)

■ 1. ガイドラインとは

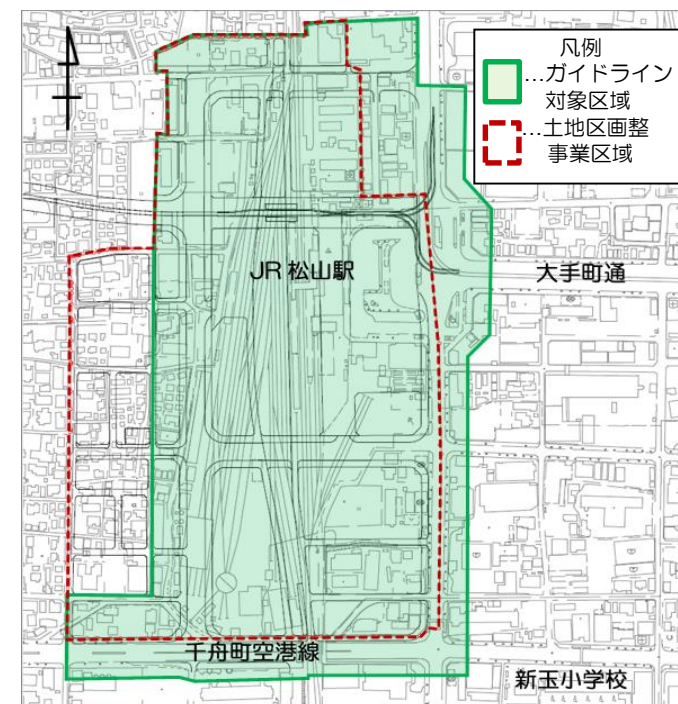
松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドラインは、松山駅周辺拠点地区での良好で魅力的なまちづくりを推進していくため、松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会や住民等による勉強会で検討し策定された、地区内の地権者等が共通して取り組むべき姿勢や基本的なルール(指針)です。

※ 詳細については、松山市ホームページをご覧ください。

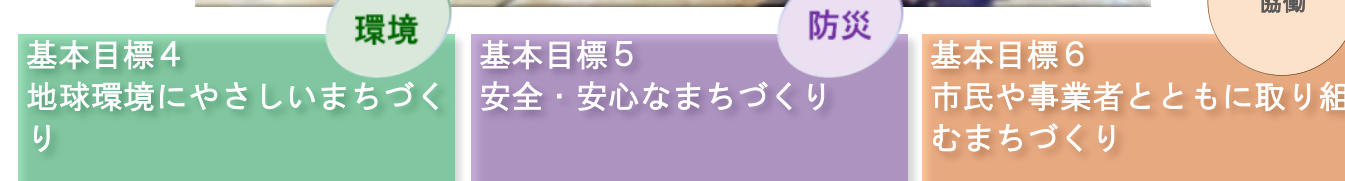
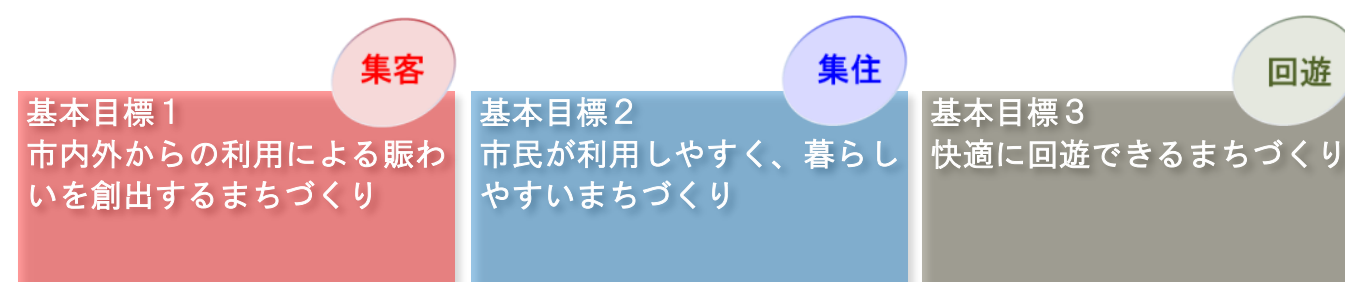
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/matsuyamaeki/kyogikai/machikyougikai6gaiyo.html>



■ 2. 対象地区 (松山駅周辺拠点地区)



■ 3. 基本目標



松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドラインの概要（2/2）

■ 4. 各基本目標の整備方針



基本目標1

市内外からの利用による賑わいを創出する

現在、連続立体交差事業や土地区画整理事業が進みつつある松山駅周辺地区は、県都松山を象徴する「顔」にふさわしいシンボル地区としての整備が望まれています。

そのため、愛媛県、松山市、鉄道事業者、民間等による集客の拠点となる施設整備や陸の玄関口にふさわしい松山らしさの演出等を通して、市内外からの利用による賑わいを創出するまちづくりを目指します。

整備方針 集客-1 集客拠点施設の整備	
方策 集客-1-1 公共交流施設の整備／集客-1-2 鉄道施設の整備	
取り組み事項 『公共交流施設・鉄道施設を賑わいの核にしよう』	
方策 集客-1-3 民間施設の整備	
取り組み事項 『賑わいを広場の内と外に繋げよう』	
整備方針 集客-2 松山らしさの演出	
方策 集客-2-1 魅力的な都市景観の形成	
取り組み事項 『眺めを意識しよう』	
取り組み事項 『まち全体の調和を大事にしよう』	
取り組み事項 『屋外広告物の質を高めよう』	
方策 集客-2-2 松山の歴史・文化の情報発信	
取り組み事項 『デザインや素材を工夫しよう』	
取り組み事項 『「ことばのちから」を発信しよう』	



基本目標2

市民が利用しやすく、暮らしやすいまちづくり

J R 松山駅西側の住宅地は、連続立体交差事業により西口駅前広場、松山駅広東西連絡線が新設され利便性が格段に高まり、また、松山駅西口南江戸線ができることで地区のあり方が大きく変わります。

コンパクトシティを目指す松山市を象徴する先導的な都心住宅地として、都心の機能集積を活かした利便性を高めつつ、安全・安心に暮らせる住宅街の形成を図ります。

整備方針 集住-1 生活便利施設の充実した都心住空間の整備	
方策 集住-1-1 土地利用転換による適切な共同化・高度利用の推進	
取り組み事項 『土地を有効活用しよう』	
方策 集住-1-2 生活便利施設の導入と利用拡大	
取り組み事項 『便利に暮らせるまちにしよう』	
方策 集住-1-3 安心・快適な地域づくりの推進	
取り組み事項 『夜道を灯で演出しよう』	
取り組み事項 『空間をゆるやかにつなげよう』	



基本目標3

快適に回遊できるまちづくり

現在進められている、連続立体交差事業や土地区画整理事業では、駅前広場が拡大・再整備されることとなり、また、これまで線路により分断されていた西側にも駅前広場が整備され、路面電車も延伸される予定です。

集積する交通機関間で、安全・快適に乗り継ぎができるだけでなく、それぞれの動線が整理され、また、周辺への回遊性を高める工夫や仕掛けを充実させるなど、全ての利用者にとって快適な駅前空間を目指します。

整備方針 回遊-1 陸の玄関口にふさわしいターミナル空間の形成	
方策 回遊-1-1 交通機関相互の円滑な乗り換え確保	
取り組み事項 『J R 松山駅の乗り継ぎを便利にしよう』	
方策 回遊-1-2 駅前広場を核にした歩行者空間の拡充	
取り組み事項 『歩行者空間にゆとりを確保しよう』	
整備方針 回遊-2 回遊が楽しい空間の形成	
方策 回遊-2-1 回遊性を高める仕掛けづくり	
取り組み事項 『公共空間を使いこなそう』	
取り組み事項 『歩いてとまって楽しい空間づくりをしよう』	
方策 回遊-2-2 だれもが自由に快適に動けるまちの整備	
取り組み事項 『みんなにやさしい空間づくりをしよう』	
整備方針 回遊-3 回遊性向上に向けた駐車・駐輪対策	
方策 回遊-3-1 駐車場の適正な配置	
取り組み事項 『歩行者動線に配慮して駐車場出入口を配置しよう』	
方策 回遊-3-2 駐輪場の適正な配置	
取り組み事項 『自転車動線に配慮して駐輪場を配置しよう』	
整備方針 回遊-4 都市軸の強化	
方策 回遊-4-1 路面電車の延伸	
方策 回遊-4-2 松山総合公園との空間的・動線的連続性	



基本目標4

地球環境にやさしいまちづくり

松山駅周辺先導的な都市環境形成計画を定め、太陽光発電や太陽熱利用、エネルギーの面的利用、緑豊かで涼やかな市街地形成等を進めることとしています。

松山市は、市街地中心部に大きな緑を有する城山公園や松山総合公園が立地する自然を身近に感じることのできる都市であり、駅前空間においてもこれを象徴するよう、季節を感じられる花や緑にあふれた空間整備を図ります。

整備方針 環境-1 環境にやさしく快適なまちづくり	
方策 環境-1-1 環境負荷の少ないまちづくりの先導	
取り組み事項 『省エネ・創エネを意識しよう』	
方策 環境-1-2 都市に潤いを与える緑のネットワークづくり	
取り組み事項 『まちを緑でいっぱいしよう』	



基本目標5

安全・安心なまちづくり

J R 松山駅は、多くの就業者、学生、観光客等が行き交うターミナル駅であることから、災害が発生した際には、帰宅困難者が集中する場所となります。

駅前広場等は、災害時の活動のために重要な場所です。また、公共交流施設等の大規模な集客施設や公園も避難場所となることから、帰宅できるまで安心してとどまれ、的確で迅速な情報提供を受けることができる環境の整備を図ります。

整備方針 防災-1 災害に強いまちづくり	
方策 防災-1-1 交通結節点としての帰宅困難者対策	
取り組み事項 『いざというとき慌てないために備えよう』	
方策 防災-1-2 災害に強い都市基盤の整備	
取り組み事項 『公園に親しもう』	
方策 防災-1-3 地域防災力の向上	
取り組み事項 『地域を自分たちで守ろう』	



基本目標6

市民や事業者とともに取り組むまちづくり

多様な関係者と共にまちづくりを推進していくことで、市民の交流拠点にふさわしい活動が日常的に繰り広げられ活気が生み出されます。

このため、行政や NPO 団体等、公共的な活動を展開している「公」、地権者や民間企業による「民」に加え、学識経験者や研究室での活動を通じてまちづくりに関わる学生等の「学」の連携によってまちづくりを推進していくことが重要です。

整備方針 協働-1 公民学連携による総合的なまちづくり	
方策 協働-1-1 エリアマネジメントへの展開	
取り組み事項 『みんなで継続的なまちづくりをしよう』	
方策 協働-1-2 市民参画イベントの実施	

松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会／松山駅周辺拠点地区まちづくり勉強会

【お問い合わせ先】

松山市都市整備部 松山駅周辺整備課
〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2
電話 089-948-6467 FAX 089-934-1807
Eメール matsuyamaeki@city.matsuyama.ehime.jp